

第2回 JPCOAR Webinar

オープンアクセス新任担当者相談会 事例紹介（1）

私たちはどういう業務をしているか ー Kernelの日常業務にまつわるエトセトラー



神戸大学附属図書館 電子図書館担当
/ JPCOAR 研究データ作業部会
有馬 良一

背景画像：L.A. Ring 「Sædemanden（部分）」



神戸大学学術成果リポジトリ

KERNEL — Kobe University Repository —



震災文庫

Great Hanshin-Awaji
Earthquake Disaster Materials Collection



新聞記事文庫

Newspaper Clippings Collection



貴重書・特殊コレクション

Special Collections



カテゴリ



ランキング



神戸大学の研究者が生産した論文などの学術成果を収集し広く公開するデータベースです。

簡易検索

詳細検索



検索



クリア

☐ 本文あり

著者所属

博士論文

資源タイプ

キャンパスライフ支援センター [4]

システム情報学研究科 [441]

バイオシグナル総合研究センター
[114]

バリュースクール [2]

医学研究科 [2610]

医学部附属病院 [1734]

科学技術イノベーション研究科 [372]

海事科学研究科 [654]

新着情報

2023年07月21日 『神戸大学地域連携活動報告書』2022年度号を公開しました。

2023年07月20日 『神戸法学雑誌』第73巻第1号を公開しました。

2023年07月07日 『神戸大学都市安全研究センター研究報告』第27号を公開しました。

2023年07月07日 『年報Promis』1号を公開しました。

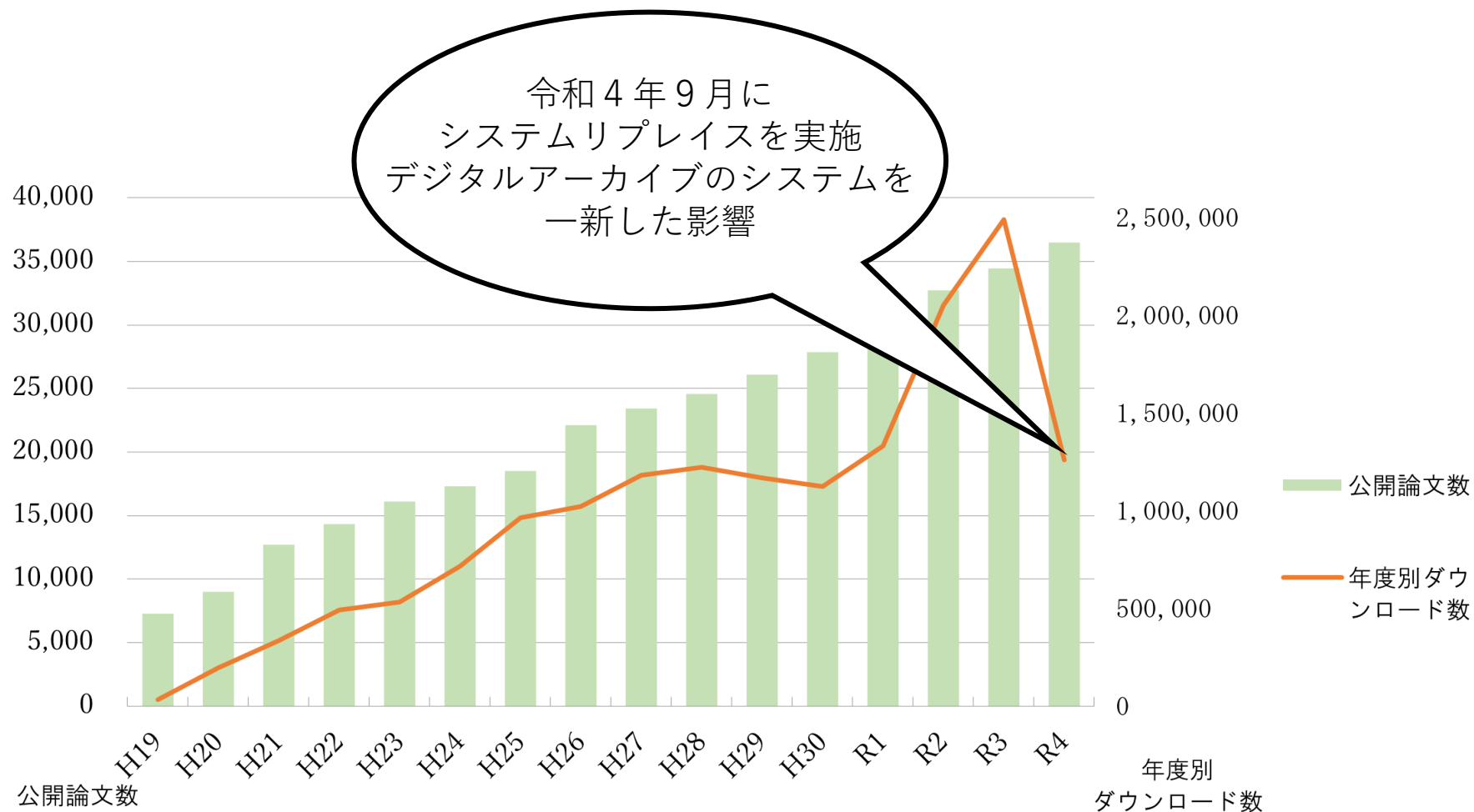
2023年07月03日 『国民経済雑誌』225巻6号を公開しました。

2023年06月21日 『神戸大学発達・臨床心理学研究』第22号を公開しました。

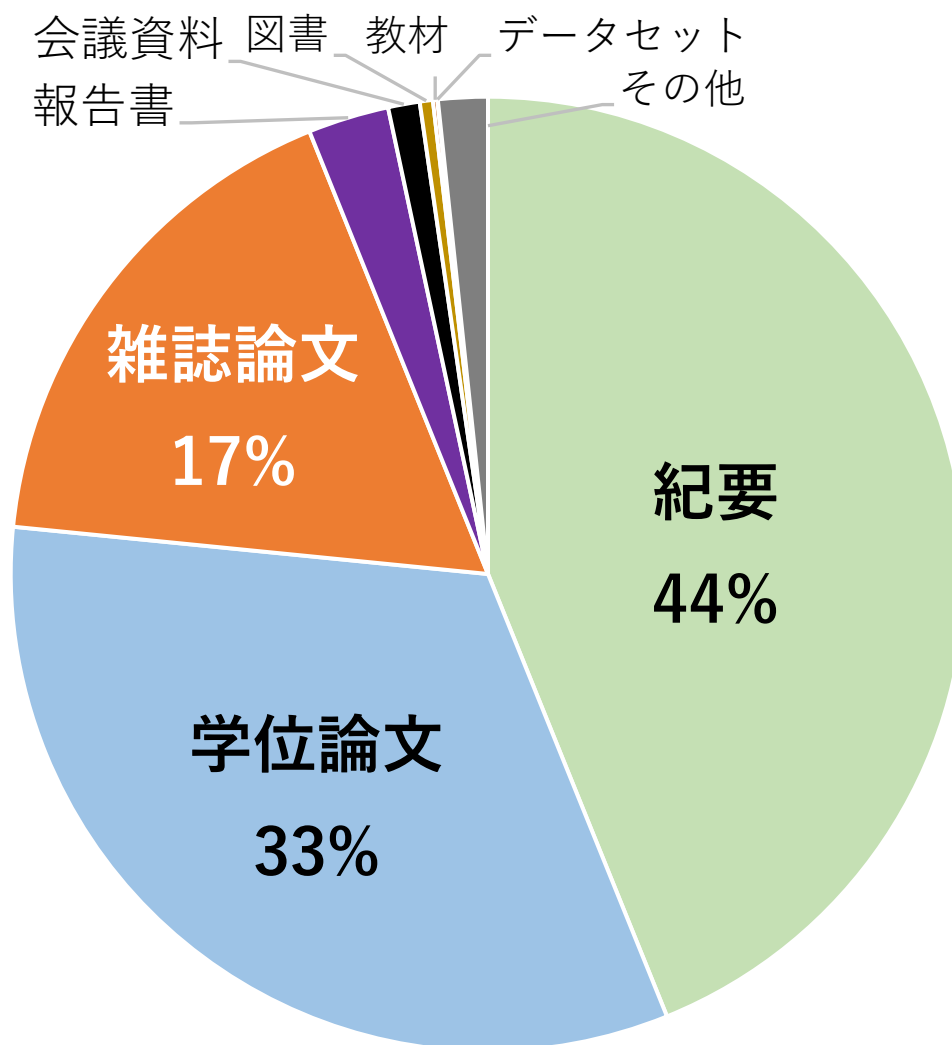
Kernelについて

Kernelの概要

Kernel 公開コンテンツ数の推移と年度別ダウンロード数



Kernel 公開コンテンツの内訳



電子情報グループ（電子図書館担当）の業務分担

専門職員



紀要論文

博士学位論文

研究データ等

+

貴重書・古典籍

事務員



学術雑誌論文

紀要論文(一部)

学会発表資料等

+

新聞記事文庫

事務補佐員



学術雑誌論文

博士学位論文

事務補佐員



紀要論文

+

新聞記事文庫

事務補佐員



紀要論文

+

新聞記事文庫

雑誌論文登録までの流れ

平成29 (2017) 年 1 月10日：神戸大学オープンアクセス方針 採択

(研究成果公開の権限)

3. 本学は、教員の研究成果を、神戸大学学術成果リポジトリ(以下「リポジトリ」という。)によって、インターネット上で公開する。ただし、研究成果の著作権は本学に移転しない。

(研究成果の提供)

6. 教員は研究成果について、出版社等の許諾により可能な場合は出版社版の論文を、著者版を許諾している場合は著者最終稿を、共著者の同意を得た上で、すみやかに本学に提出する。



研究者からの登録依頼

2022年度の実績

依頼数：175件（約50名） うち登録数：151件



Route 1 : Web of Science

Route 0 : 研究者からの登録依頼

Route 2 : researchmap → KUID-研究者紹介システム

Route 1 : Web of Science

頻 度 : 毎日

検索方法 : Web of Science の「著者所属」と「出版日」で
新たに登録された神戸大学の成果物を検索

2022年度の実績

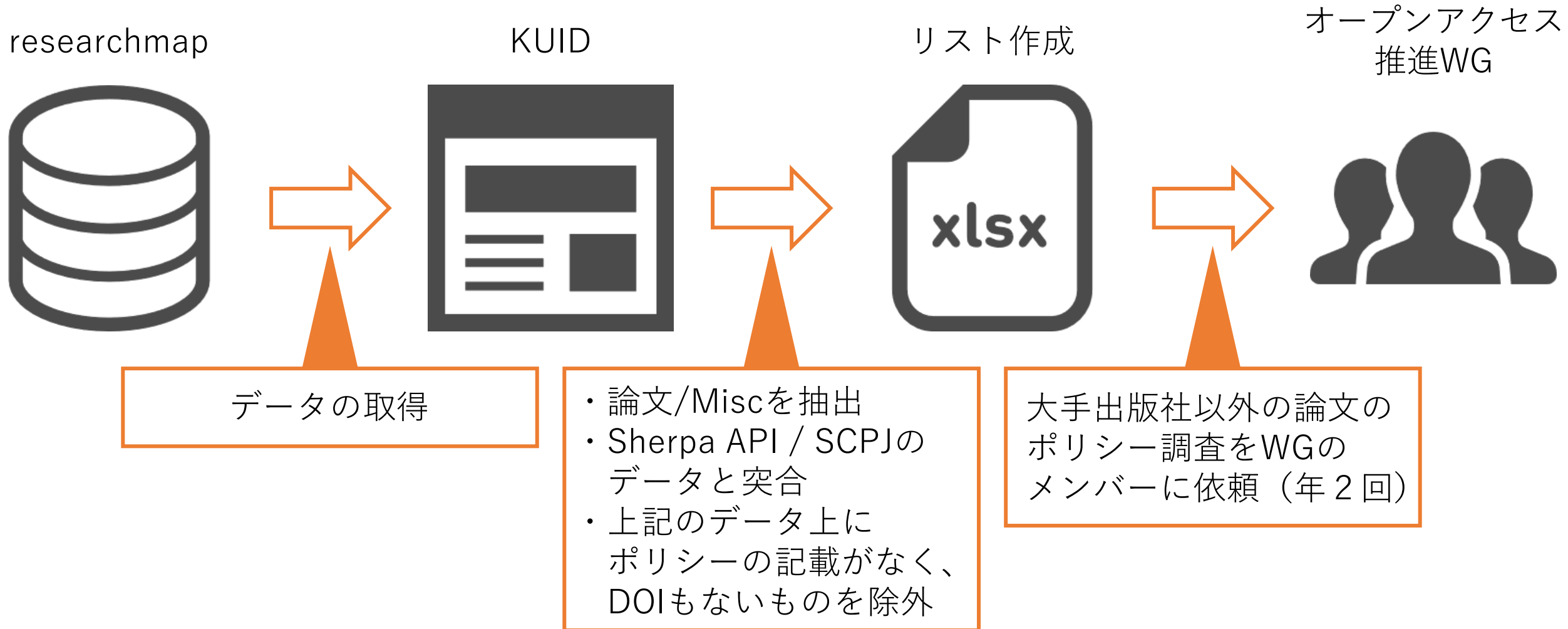
依 頼 数 : 469 件

登 録 数 : 249 件 (登録率 : 53%)

CC有登録数 : 510 件

- ・ 責任著者の所属が神戸大学以外
- ・ 出版社のポリシーが不明
のものは除外

Route 2 : researchmap → KUID-研究者紹介システム



Route 2 : researchmap → KUID-研究者紹介システム

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	ID	Kernelリンク	DOI等リンク	タイトル(日)	著者(日)	出版者・発行元(日)	誌名(日)	巻	号	始ページ	了ページ	出版年月	DOI	ISSN	eISSN	URL	UnPayWall	SCPJポリシー	
121	0899	Kernel	DOI	ブレFD受講生の学大山 牧子, 根岸 一一般社団法人 日	日本教育工学会論文誌							2022	10.15077/jjet.S451	1349-8290		https://doi.org/10.1		Blue(査読後論文のみ認める)	
122	0900	Kernel	DOI	震災を題材とした見城 佑衣, 大山 一一般社団法人 日	日本教育工学会論文誌							2022	10.15077/jjet.4501	1349-8290		https://doi.org/10.1		Blue(査読後論文のみ認める)	
123	0901	Kernel	DOI	Reference map法を嶋田 宗将, 西口 浩司, Peco Christian 日本計算工学会誌	2022				#####			2022	10.11421/jsces.20	1347-8826		https://jglobal.jst.g		Blue(査読後論文のみ認める)	
124	0902	Kernel	DOI	アクティブガイド原田 和弘, 田島 敬之, 小郷 祐子, 澤 日本健康教育学会	30	2	103	114				202205	10.11260/kenkokyoiku.30	103		https://doi.org/10.1		Blue(査読後論文のみ認める)	
125	0903	Kernel	DOI	都市街区における佐藤 逸人 Architectural Institi 日本建築学会環	88	803	13	21				202301	10.3130/aije.88.13	1348-0685	1881-817X	https://doi.org/10.3	bronze		
126	0904	Kernel	DOI	ネパールの歴史的星野 隼人, 向井 日 日本建築学会	日本建築学会技術	28	69	685	690			202206	10.3130/aijt.28.685	1341-9463	1881-8188	https://doi.org/10.3	gold		
127	0905	Kernel	DOI	伊丹潤の言説にお後藤 沙羅, 末包 作 日本建築学会	日本建築学会計画	87	799	1774	1785			20220901	10.3130/aija.87.17	1340-4210	1881-8161	https://doi.org/10.3	bronze		
128	0906	Kernel	DOI	防災集団移転促進友淵 貴之, 槻橋 修 日本建築学会	日本建築学会計画	87	800	1933	1941			20221001	10.3130/aija.87.19	1340-4210	1881-8161	https://doi.org/10.3	bronze		
129	0907	Kernel	DOI	『SUBSTANCE A増岡 亮, 末包 伸 日本建築学会	日本建築学会計画	87	802	2642	2653			20221201	10.3130/aija.87.26	1340-4210	1881-8161	https://doi.org/10.3	bronze		
130	0908	Kernel	DOI	ビル販売センター李 厚君, 槻橋 修 日本建築学会	日本建築学会計画	88	803	316	327			20230101	10.3130/aija.88.31	1340-4210	1881-8161	https://doi.org/10.3	bronze		
131	0909	Kernel	DOI	家族住宅資産の隆平山洋介	日本建築学会計画	88	805	1071	1080			202303	10.3130/aija.88.1071			https://doi.org/10.3	bronze		
132	0910	Kernel	DOI	日韓関係における木村 幹	日本研究論叢	56		147	180			202212	10.35368/kjjs.2002	.56.006		https://doi.org/10.3			
133	0911	Kernel	GoogleScho	緩和医療における山口 崇 (一社)日本呼吸ケ	日本呼吸ケア・リ	30	2	177	180			202204		1881-7319	2189-4760			Green(査読前・査読後どちらでも認め	
134	0912	Kernel	DOI	慢性閉塞性肺疾患佐藤 央基, 中村 一一般社団法人 日	日本呼吸ケア・リ	31	1	122	128			20221226	10.15032/jsrsc.21	1881-7319	2189-4760	https://doi.org/10.1		Green(査読前・査読後どちらでも認め	
135	0913	Kernel	GoogleScho	呼吸ケア・リハに古和 久朋 (一社)日本呼吸ケ	日本呼吸ケア・リ	32	Suppl. 78s	78s				202210		1881-7319	2189-4760			Green(査読前・査読後どちらでも認め	
136	0914	Kernel	DOI	健康づくりのため田島 敬之, 原田 和弘, 小郷 祐子, 澤 日本公衆衛生雑誌		69	10	790	804			202210	10.11236/jph.21-150			https://doi.org/10.1		Gray(無回答)	
137	0915	Kernel	DOI	津波来襲時を想定木村 宏宏, 笹 健 日本航海学会論文		147		1	8			202301	10.9749/jin.147.1	0388-7405	2187-3275	https://doi.org/10.9	gold	Blue(査読後論文のみ認める)	
138	0916	Kernel	GoogleScho	重度小児IgA腎症I島 友子, 向山 弘一(一社)日本腎臓学	日本腎臓学会誌	64	3	269	269			202205		0385-2385	1884-0728			Blue(査読後論文のみ認める)	
139	0917	Kernel	GoogleScho	類上皮膚腫れに対する藤本 卓也, 安藤 徹(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1300	S1300			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
140	0918	Kernel	GoogleScho	骨肉腫肺転移症伊河本 旭哉, 森下 牙(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1346	S1346			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
141	0919	Kernel	GoogleScho	骨盤発生悪性骨・竹森 俊幸, 河本 旭(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1348	S1348			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
142	0920	Kernel	GoogleScho	手足に生じた軟部西 越広, 竹森 修(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1352	S1352			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
143	0921	Kernel	GoogleScho	悪性末梢神経鞘腫藤原 周一, 藤田 昌(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1356	S1356			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
144	0922	Kernel	GoogleScho	腹腔外デスマイト藤田 郁夫, 藤原 昌(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1371	S1371			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
145	0923	Kernel	GoogleScho	明細胞肉腫薬物注森下 雅之, 藤本 昌(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	6	S1432	S1432			202206		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
146	0924	Kernel	GoogleScho	骨肉腫細胞におけ宮本 智弘, 河本 旭(公社)日本整形外	日本整形外科学会	96	8	S1761	S1761			202209		0021-5325		https://search-tp.ja		Blue(査読後論文のみ認める)	
147	0925	Kernel	DOI	入浴中の深部温の高田 暁, 野中 隆, 日本生気象学会	日本生気象学会誌	59	3-4	79	88			20221125	10.11227/seikisho.	0389-1313	1347-7617	https://doi.org/10.1		Gray(検討中)	
148	0926	Kernel	GoogleScho	卵胞発達に伴うウ伏井 実穂子, 京極 (一社)日本生殖医	日本生殖医学会誌	67	3	134	134			202207		1881-0098				Green(査読前・査読後どちらでも認め	
149	0927	Kernel	DOI	シングルセル, オ野村淳, 内匠透 日本生物学的精	2022a	33	2	48	52			202206	10.11249/jsbpjpp.33.2	48		https://doi.org/10.1			
150	0928	Kernel	DOI	航海日誌の気象テ久保田 尚之, 松本公益社団法人 日	日本地理学会発表	2022a		106				2022	10.14866/ajg.2022a.0	106		https://doi.org/10.1			
151	0929	Kernel	DOI	日記天候記録と三上 岳彦, 財城 日公益社団法人 日	日本地理学会発表	2022s		35				2022	10.14866/ajg.2022s.0	35		https://doi.org/10.1			
152	0930	Kernel	DOI	オランダ軍艦の航久保田 尚之, 塚原公益社団法人 日	日本地理学会発表	2022s		152				2022	10.14866/ajg.2022s.0	152		https://doi.org/10.1			
153	0931	Kernel	DOI	茶道における抹茶洲戸 歩, 白杉(片日日本調理科学会	日本調理科学会大	33		61				2022	10.11402/ajscs.33.0	61		https://doi.org/10.1			
154	0932	Kernel	DOI	神経毒性に関する平野 哲史, 池中日 日本毒性学会	日本毒性学会学術	49.1		P-4E				2022	10.14869/toxtp.49.1.0	p-4e		https://doi.org/10.1			
155	0933	Kernel	GoogleScho	疾患IPS細胞を用I蟹江 慶太郎, 伊藤 (一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	180	180			2022		0029-0661	2186-506X	https://jglobal.jst.g		Blue(査読後論文のみ認める)	
156	0934	Kernel	GoogleScho	自己免疫性下垂体蟹江 慶太郎, 伊藤 (一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	180	180			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	
157	0935	Kernel	GoogleScho	疾患IPS細胞を用I蟹江 慶太郎, 伊藤 (一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	272	272			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	
158	0936	Kernel	GoogleScho	新規FDG-PET/MR伊藤 潤, 坂口 一彦(一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	311	311			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	
159	0937	Kernel	GoogleScho	末梢血FKBP5遺伝鈴木 正暉, 山本 牙(一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	315	315			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	
160	0938	Kernel	GoogleScho	先端巨大症患者に山本 直希, 浦井 作(一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	331	331			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	
161	0939	Kernel	GoogleScho	内科における先端辻本 泰貴, 蟹江 昌(一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	331	331			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	
162	0940	Kernel	GoogleScho	当院における成人大井 佑夏, 山本 牙(一社)日本内分泌	日本内分泌学会誌	98	1	345	345			202204		0029-0661	2186-506X			Blue(査読後論文のみ認める)	

調査結果

調査対象

+

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

Route 2 : researchmap → KUID-研究者紹介システム

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	中断の理由	ID	版区分	タイトル	掲載誌	巻号	ページ	公開者	出版日	DOI	根拠	エンバゴ	その他の条件	依頼先	教員所属	連絡先	備考
17		0487	author	Lattice Boltzmann meth	Multiphase Scie	34(3)	47-61	Begell House	2022	10.1615/MultSch	https://www.be	12	An author's orig		工学研究科		責任著者不明
18	責任著者が他	0488															
19		0489	author	Surface-potential-modu	Nanotechnology	33(50)	505701	IOP Publishing	2022-09-26	10.1088/1361-6	https://publish	12			工学研究科		be-u.ac.jp
20		0490	author	Conversion of methyl ca	Natural Product	36(9)	2215-22	Taylor & Francis	2020-10-09	10.1080/147864	https://authors	12			農学研究科		u.ac.jp
21	責任著者が他	0491															
22	責任著者が他	0492															
23	責任著者が他	0493															
24	責任著者が他	0494															
25		0495	author	Structure of a monomeri	Nature Commur	14		Springer	2023-02-17	10.1038/s41467	https://www.na	6			理学研究科		kobe-u.ac.jp
26		0496	author	Deformation constraints	Nature Commur	14		Springer	2023-02-23	10.1038/s41467	https://www.na	6			理学研究科		e-u.ac.jp
27	責任著者が他	0497															
28		0498	author	Impact of Seizure Recurr	Neurology	99 (4)	376-384	American Acad	2022-05-04	10.1212/WNL.0	https://www.ne	12	Self-archiving:		医学研究科		責任著者不明
29	責任著者が他	0499															
30	責任著者が他	0500															
31	責任著者が他	0501															
32	責任著者が他	0502															
33	責任著者が他	0503															
34	責任著者が他	0504															
35	責任著者が他	0505															
36	ブロンズOA	0506															
37		0507	publisher	Efficacy of a High-defini	NMC Case Rep	9	243-247	The Japan Neur	2022-12-31	10.2176/jns-nr	CC BY	なし			医学研究科		mail.com
38		0508	author	Efficacy of Lentinula edo	Nutrition and Ca	75(1)	236-246	Routledge	2022-08-11	10.1080/016355	https://authors	12			医学研究科		kobe-u.ac.jp
39	責任著者が他	0509															
40		0510	author	The effect of Dioscorea	Nutrition and He	2022		Sage	2022-10-11	10.1177/026010	https://uk.sage	なし			人間発達環境学		e.kobe-u.ac.jp
41		0511	author	Association of low back	Occupational M	72(9)	598-603	Oxford Universi	2022-12-14	10.1093/occme	https://academ	12			保健学研究科		o.jp
42	責任著者が他	0512															
43	責任著者が他	0513															
44		0514	author	The Amount and Concer	Oncology	100(7)	363-369	Karger	2022-07	10.1159/000524	https://karger.c	12	Be linked to the		医学研究科		be-u.ac.jp
45	責任著者が他	0515															
46		0516	publisher	Genetic variants of canc	Oncology Letter	25(3)	Article 1	Spandidos	2023-2-08	10.3892/ol.2023	https://www.sp	6	Authors are end		医学研究科		obe-u.ac.jp
47	責任著者が他	0517															
48	責任著者が他	0518															
49		0519	author	Single-shot generalized	Optics Letters	48(3)	632-635	Optica	2023-01-23	10.1364/OL.479	https://ong.ont	12			システム情報学		ort.kobe-u.ac.jp

Route 2 : researchmap → KUID-研究者紹介システム

2022年度の実績

KUID登録論文数 : 13,453 件

調査対象件数 : 2,682 件

依頼対象件数 : 510 件

- ・ 責任著者の所属が神戸大学以外
- ・ 抄録や要旨のみ
- ・ ブロンズOA
- ・ 出版社のポリシーが不明
のものは除外

依頼数 : 500 件

登録数 : 135 件 (登録率 : 27%)

CC有登録数 : 97 件



依頼のスケジュール感

4月～3月：確認・依頼・登録

Route 1：Web of Science

Route 0：研究者からの登録依頼

ポリシーの明確な
雑誌論文等

学会発表資料や
ポリシー不明の
海外雑誌掲載論文等

Route 2：researchmap → KUID-研究者紹介システム



4月下旬

リスト作成

5月～8月：依頼・登録

9月下旬

リスト作成

10月～3月：依頼・登録

教員からの問い合わせ・コメント

- 出版社に著作権を譲渡しているから公開できない
⇒ 出版社のポリシーを示しつつ説明
- プレプリントと著者最終稿の違い？
⇒ FAQの作成
- 著者最終稿に誤字・脱字があるので修正したい
⇒ FAQの作成
- オープンアクセスにしているのでリンクだけ付けてほしい
⇒ Kernelではリンクのみの登録は行っていないことを説明
- 某本文閲覧用のURLがわからない
⇒ JPCOARのMLと英文解釈とで対応

学術成果リポジトリKernelに関するFAQ

学術成果の登録・公開について

- [Kernelで論文を公開すると、どんなメリットがありますか？](#)
- [図書館提出時の論文ファイルの形式は何でもよいのですか？](#)
- [論文が本文ファイルと画像資料ファイルに分かれています。複数のファイルを提出できますか？](#)
- [文書ファイルだけではなく、動画ファイルも公開できますか？](#)
- [図書や図書のなかの1章も登録の対象になりますか？](#)
- [図書館から登録依頼メールが来ました。どのような基準でメールを送っているのですか？](#)

著作権について

- [学術成果の著作権は誰にありますか？](#)
- [Kernelに学術成果を登録すると著作権も譲渡されるのですか？](#)
- [投稿した論文は出版社に著作権を譲渡しています。Kernelに論文を登録して問題ないでしょうか？](#)
- [著者最終原稿とは何ですか？](#)
- [著者最終稿について、盲点がない場合は何を送付すればよいのでしょうか？](#)
- [著者最終稿に誤字を見つけました。最終稿の誤字・脱字を修正してKernelに登録してもよいですか？](#)
- [他者の論文の図表等を転載しています。Kernelに登録して問題ないでしょうか？](#)

オープンアクセス方針について

- [オープンアクセス方針の対象となる教員は誰でしょうか？](#)
- [オープンアクセス方針の対象となる研究成果は何でしょうか？](#)
- [オープンアクセス方針ができたことで何が変わるのでしょうか？](#)
- [具体的に教員は何をしただけなのでしょうか？](#)
- [オープンアクセスジャーナルに掲載されている論文についても論文情報の通知をしたほうがよいのでしょうか？](#)
- [論文情報のお知らせ方法は「これまでにKUIDに入力した論文全部」という依頼の仕方でもいいのでしょうか？](#)
- [オープンアクセス方針は過去の論文にも適用されるのでしょうか？過去の分について図書館はKUIDを確認しないのであれば、メールで送付した方がよいのでしょうか？](#)

FAQ

学術成果の登録・公開について

Q. Kernelで論文を公開すると、どんなメリットがありますか？

A. 一般に商業出版社が刊行するジャーナルに掲載された論文は、購読料を支払わなければ閲覧できません。一方、Kernelはインターネット環境さえあれば、そこに登録さ

オープンアクセス

- ▶ [神戸大学学術成果リポジトリKernel](#) 
- ▶ [学術成果リポジトリとは](#)
- ▶ [学術成果の登録方法](#)
- ▶ [博士論文について](#)
- ▶ [紀要論文について](#)
- ▶ [Kernelコンテンツに対するJALIC DOI付与](#)
- ▶ [オープンアクセス方針について](#)
- ▶ [学術成果リポジトリKernelに関するFAQ](#)

資料を探す

神戸大学の所蔵資料を検索



- ☒ OPAC
- ☐ ディスカバリー
- ☐ デジタルアーカイブ

- ▶ [詳細検索](#)
- ▶ [資料ガイドKUIDP](#)
- ▶ [データベース一覧](#)
- ▶ [貴重書・特殊文庫一覧](#)

Kernelの広報

『Kernel通信』の発行

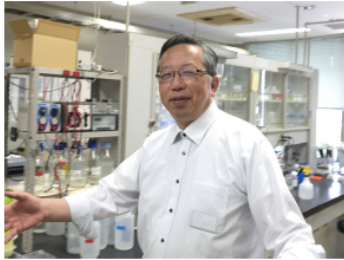
- ・年2回（8月・2月ごろ）発行
- ・OAWGメンバーと協力して作成
- ・研究紹介と広報を兼ねて
- 学内教員へインタビュー
- ・OA/OS関係の情報提供



研究者紹介 土佐幸雄先生

本コーナーでは、学内の研究者の方にインタビューを行い、普段の研究内容やその方法、附属図書館への要望等についてご紹介しています。今回は今年度図書館長に就任された農学研究科の土佐幸雄先生にお話を伺いました。

人間や他の動物と同様、植物も様々な病害の脅威に晒されており、その影響は植物を食料その他の用途で幅広く利用している私たち人間にとっても甚大なものとなります。土佐先生がご専門とされているのは、そうした植物の病害とその防除について研究を行う植物病理学です。



本インタビューでは、「農業なしで農業は可能か」というご関心から、大学の研究職の道に進まれ、近年パンデミック病害となりつつあるコムギもち病を研究対象として選択されるに至った経緯や、現在の研究内容などについて分かりやすくご説明いただきました。

また、以前に国内外の複数の大学で研究をされていた時の、図書館をはじめとする研究環境の違いや驚き、電子ジャーナルの登場・普及による文献の入手・整理方法の変化についても、お話を伺うことができました。

さらに、研究者・教育者として学会や授業における対面でのコミュニケーションの重要性をコロナ禍を通じて痛感されたことや、附属図書館長としての観点から見たアクティブラーニングの場としての図書館の利活用の変化やオープンアクセスの推進に至るまで、幅広く語っていただきました。

ぜひインタビュー全文をご覧ください。

インタビュー全文

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/>

Kernelで公開されている土佐先生の論文

https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/kernel/search/advanced/?mode=1&kywd1=A1698&con1=c_code_auidh

特集：オープンアクセスの動向 (I. 国内編)

今号の特集では、日本国内におけるオープンアクセス（OA）の動向をご紹介します。世界的にOAが推進されるようになった経緯から、国内の最近の動向までをまとめてみました。なお、諸外国の動向については次号に掲載予定です。お楽しみに！

OA推進運動の経緯

多くの学術雑誌は読者（研究機関）が支払う購読料によって出版コストを回収する方法をとっています。しかしその購読料が高騰を続けていることから、読者（研究機関）がこれまで以上に学術雑誌を購入し続けることが困難になってきています。その結果、研究に必要な論文を即座に入手したいという研究者のニーズを満たせなくなることが世界的な問題となっていました[1]。

この事態を受けて、インターネットを通じて誰でも自由に学術成果を利活用できるようにするオープンアクセス（OA）が推進されてきました。世界的にOA推進運動が浸透する最初期の契機となったのは、2002年に発表された「ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ」（BOAI）[2]です。BOAIではOAの定義と目標を定め、その実現方法として「セルフアーカイブ」と「OAジャーナル」の2つを提示しました。

「セルフアーカイブ」は「グリーンOA」とも呼ばれ、著者が自身のWebサイトや所属する大学・研究機関のプラットフォーム（機関リポジトリ等）から論文（主に著者最終稿）を公開する方法です。一方の「OAジャーナル」によるOAの実現について、BOAIでは様々な方法が例示されていますが、現在では著者が出版社に論文処理費用（APC）を支払うことで論文（出版版）を即時公開する「ゴールドOA」と呼ばれる方法が一般的です。前者のグリーンOAは日本やアメリカで、後者のゴールドOAは英国など欧州で主流なOAの実現方法になっています。また、アメリカの国立衛生研究所（NIH）や英国のウェルカム財団（The Wellcome Trust）など、公的機関の助成を受けた研究成果のOAを義務化する流れも上述のようなOAを推進する活動の一環として始まりました[3]。

日本におけるOAの展開

日本のOAは2005年頃から、大学の機関リポジトリによるグリーンOAを中心として展開してきました。2006年に正式公開された神戸大学学術成果リポジトリKernelもその先駆けと言えます。2012年には独自のリポジトリ構築が困難な中小規模の機関に向けて、国立情報学研究所（NII）が共用リポジトリサービスJAIRO Cloudを正式開始しました[4]。第4期科学技術基本計画[5]でも「機関リポジトリの構築を推進し（中略）オープンアクセスを促進する」という方向性の推進が示され、以降の各種政策文書もこれに沿っています。

2015年以降は京都大学をはじめとした各大学等で独自のオープンアクセス方針が策定されるようになり[6]、2017年には神戸大学もオープンアクセス方針を採択しました[7]。同時期に科学技術振興機構（JST）や日本学術振興会（JSPS）もOA推進の立場を示し[8][9]、特にJSTは「JSTが進める具体的なオープンアクセス化は、国の施策として進められている機関リポジトリを基盤として活用し、研究者が発表したジャーナルの許諾を得たうえで機関リポジトリ上での『一定の期間』内の公開を推奨する旨、公募要領などに明記し推進することとする」という具体的な方法に踏み込んでいます[10]。

世界的な潮流を見据えた動きとして、たとえば電子リソース整備のために国公私立大学図書館等が連携する大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）は2019年に「OA2020ロードマップ」でOA出版モデル実現までの道筋を示し、出版社との交渉方針を提示／共有して持続可能な契約モデルの検討を重ねています[11]。一方で、研究助成機関の国際的コンソーシアムが研究成果の完全即時OA化を提唱した「プランS」に対しては、「ゴールドOAを前提としている（日本ではグリーンOAが多い）」「APCを著者の助成機関／所属機関が負担している（日本では著者自身が負担することが多い）」といった方針や制度の違いも影響して静観が続いている状況です[12]。

現状として、日本はグローバル平均以上のOA論文の割合を維持しているものの、政府や研究助成機関の方針を背景とした欧州各国ではそれ以上のOA率の伸びが見られています[13]。また、研究者のAPC支払経験は獲得している研究費や外部

登録方法等についての教材作成

オープンアクセスの仕方

オープンアクセスの実 現方法

オープンアクセスの実現方法

オープンアクセスとは、公開された論文が誰でも自由に閲覧・ダウンロード・複製・転載・再配布が可能となることを指します。本学では、オープンアクセスの実現方法として、以下のような方法があります。

オープンアクセスで 論文を公開	セルフアーカイブ
・オープンアクセスジャーナル に投稿	・機関リポジトリ (Dspace)
・オアジッド (OA) にアップロード （OAジャーナルにアップロード）	・プレプリントサーバー
	・研究機関ウェブサイト

開いてみたい論文情報はこちら

オープンアクセスとは、公開された論文が誰でも自由に閲覧・ダウンロード・複製・転載・再配布が可能となることを指します。本学では、オープンアクセスの実現方法として、以下のような方法があります。

本学では、オープンアクセスの実現方法として、以下のような方法があります。

本学では、オープンアクセスの実現方法として、以下のような方法があります。

[pdf:329KB] 

⇒ [学術成果リポジ
トリKernel](#) 

オープンアクセス入 門：博士論文のイン ターネット公表を中心 に(2019)

オープンアクセス入門 博士論文のインターネット公表を中心に

別紙公開権 技術情報誌 電子図書館

[pdf:732KB] 

博士論文のインター ネット公表について (2022)

博士論文の インターネット公表について

別紙公開権 技術情報誌 電子図書館
npo.ac.jp.kobe-u.ac.jp

[pdf:744KB] 

⇒ [ノート付](#)

[pdf:2MB] 



課題：もっと種蒔きを

(より積極的な広報)

